

ファミリー企業改革（剰余金の還元）の取り組み状況

高速道路に関連した社会貢献基金の立ち上げのための「設立準備委員会」が平成17年3月25日に開催された。

この中で、日本道路公団（以下「公団」）から社会貢献活動に対する積極的な協力を依頼し、「設立準備委員会」の中で、高速道路関連の社会貢献基金の枠組み（支援活動の内容等）について検討を進め、実施に向け具体化を図っていくこととされた。

- ・開催日 平成17年3月25日
- ・参加者 公団、(財)道路サ - ビス機構、(財)ハイウェイ交流センター、行政コスト計算書上の子会社・関連会社14社

【参考】

高速道路関連社会貢献基金の枠組み（案）

1. **名称** 高速道路関連社会貢献基金

2. **設立趣旨**

高速道路のお客様に対する、安全性、信頼性及びサービスの向上を図るための社会貢献活動を行い、もって公共の福祉の増進に寄与する。

3. **事業概要**

活動内容例 高速道路のお客様へ幅広く貢献できる各種支援事業を展開

- 1) 高速道路に関連する救命救急医療事業等への支援
- 2) 障害者・高齢者・幼児等を含むお客様サービス向上支援
- 3) 非常用救援物資の備蓄等の支援
- 4) 高速道路の安全性・環境等にかかる研究開発への支援

設立主体 任意団体 「高速道路関連社会貢献協議会（仮称）」

構成員：本基金の趣旨に賛同する者

当面は、行政コスト計算書上の子会社・関連会社を中心に構成
 民営化後は、高速道路の建設・管理に関連する法人等幅広い拡大も視野
 協議会の詳細は今後検討
 (財)道路サービス機構において事務を取扱う

4. **設立時期** 平成17年7月頃（株主総会等による意思決定後）

5. **事業実施**

平成17年度末から事業実施予定。事業実施の意思決定にあたっては、有識者を含めるなど客観性・透明性を確保（具体的な事業内容等、詳細は今後検討）